



CONTENTS

- 活動報告・各種会議議事録
- 第42回大会報告
- 会員異動
- 学会関連カレンダー
- 学会主催会議等の詳細
- 日本農薬学会第43回大会における広告、展示およびランチョンセミナー募集のご案内

平成28年度第6回常任評議員会議事録

日 時：平成29年3月5日(日) 14:00～15:10

場 所：愛媛大学共通教育棟2階 講23

出席者：会長，副会長，常任評議員，第42回大会組織委員長
計16名

議事：

I. 平成28年度第5回常任評議員会議事録について確認した。

II. 経過報告および議事

1. 大会関係

- ・第42回愛媛大会の準備状況について大会実行委員長から報告があった。
- ・第43回評議員会資料および進行について確認した。
- ・第42回通常総会資料および進行について確認した。
- ・第43回大会について確認した。

2. 財務関係

- ・平成28年度収支について総会資料の内容を確認した。
- ・平成28年度会計の監査が平成29年2月17日に実施され、監査の結果、事業報告および決算が的確であった旨報告があった。
- ・平成29年度予算案について総会資料の内容を確認した。

3. 編集委員会

- ・農薬誌第42号1号，JPS第42巻1号の発刊について報告があった。

4. 環境委員会

- ・農薬の理解促進WGに関しての報告があった。

- ・環境委員会の再編成についての案が検討された。

5. 将来計画委員会

- ・活動状況について説明があった。

6. ホームページ委員会

- ・活動状況について報告があった。
- ・学術小集会などの出版物のアーカイブ化の進捗状況について報告があり、小集会講演要旨等について著作権利用許諾誓約書が承認された。

7. 技術士育成推進委員会

- ・平成28年度の活動について報告があった。

8. 研究会等の協賛について

- ・平成29年8月23日～27日に龍谷大学（京都府京都市）で開催予定の第33回国際化学生態学／第9回アジア太平洋化学生態学合同会議を協賛することを承認した。

9. 植物保護科学連合

- ・平成29年度からは三芳新会長，夏目副会長が担当することが決まった。

10. 農学会関連報告

- ・平成29年度は，日本農学会大会（4月5日）が開催予定である。

11. 入退会の報告（平成29年2月1日～2月28日）

- ・入退会が承認された。入会は正会員8名，海外会員1名，退会は正会員13名，学生3名。

12. その他

- ・会長により指名された次期学術小集会委員長について承認された。
- ・三芳次期会長より次期常任評議員についての紹介があった。

平成29年度 第1回常任評議員会議事録

日 時：平成29年5月13日(土) 13:00～17:00

場 所：日本植物防疫協会 地下会議室

出席者：出席者 16名，欠席者1名

議事：

I. 平成28年度第6回常任評議員会議事録の確認

II. 経過報告および議案

1. 財務関係
 - ・平成29年度収支の現状（1月1日から4月30日まで）について報告があった。
 - ・大会・研究小集会の事務運営について課題が説明され、改善策が提案されて、了承された。
2. 編集委員会
 - ・新編集委員の紹介があり、新体制の方針の報告があった。
 - ・論文掲載料の変更について検討された。
 - ・愛媛大会での編集委員会企画ランチョンセミナー開催の報告があった。
3. 環境委員会
 - ・平成29年度の活動の状況と予定について説明があった。残留分析セミナーは、例年通り2回実施する（関東および関西）。
 - ・環境委員会の再編成について検討された。
4. 将来計画委員会
 - ・活動状況について説明があった。
5. ホームページ委員会
 - ・活動状況について報告があった。
6. 学会賞受賞者選考委員会
 - ・平成30年度学会賞の選考スケジュールについて説明があった。
 - ・日本農学進歩賞の推薦について検討した。
7. 技術士育成推進委員会
 - ・愛媛大会での技術士試験対策セミナーについて報告があった。
8. 昆虫科学連合
 - ・シンポジウムが7月22日に開催予定であり、その準備に関する説明があった。
9. 海外渡航経費補助
 - ・財務委員会より本年度の海外渡航費補助の方針について説明があった。
 - ・バレンシア（スペイン）で開催予定のThe Federation of European Microbiological Societies (FEMS) 2017への参加に1名の申請があり、補助することに決定した。
 - ・派遣研究者の義務に関する会則の改定について検討された。
10. 日本農学会
 - ・日本農学会平成29年度第1回運営委員会の報告があった。平成29年度日本農学会シンポジウムのテーマは「大変動時代の食と農」であることが報告された。
11. 公益財団法人農学会
 - ・技術者教育推進委員会について報告があった。
12. 学術小集会関連
 - ・小集会の活動経費の追加補填について申請があり、承認された。
13. 研究会の後援・協賛について
 - ・著作権利用許諾について英訳版の作成も検討された。
14. 農薬科学研究奨励金関連
 - ・平成29年度農薬科学研究奨励金の申請・審査方法について検討した。
 - ・農薬科学補助金のHPを更新する。例えば過去の受賞者リストなど。
15. 第42回大会報告
 - ・第42回大会の収支について報告があった。
16. 40周年記念事業関連
 - ・アーカイブ化の進捗状況について報告があった。
17. 入退会の報告（平成29年3月1日～平成29年4月30日）
 - ・入退会が承認された。入会は正会員8名、学生1名、海外会員1名、団体会員1団体。退会は正会員7名、団体会員2団体。
18. その他
 - ・学生優秀発表賞の設置に関する議論がなされた。
 - ・常任評議員会の年間スケジュールについて決定した。
 - ・大会の講演における写真撮影の許容について再度確認された。
 - ・男女参画費は費目として復活させることが報告された。

日本農薬学会第42回大会報告

日本農薬学会第42回大会は、去る平成29年3月6日(月)～8日(水)の3日間、愛媛県松山市の松山全日空ホテルおよび愛媛大学城北キャンパスにおいて開催されました。正会員、名誉会員、終身会員、維持会員、関連学会の方々(311名)、学生会員(32名)や非会員(127名)の方々の参加があり、参加者総数は470名を数えました。

初日は、松山全日空ホテルにおいて、総会に引き続き、学会賞授賞式、奨励賞(1題)、業績賞(研究, 1題)、業績賞(技術, 2題)の受賞講演、さらに、特別講演(2題)が行われました。2日目、3日目は愛媛大学城北キャンパスに会場を移し、一般講演(105題)、シンポジウム(2会場)、編集委員会企画セミナー、技術士試験対策セミナー、およびランチョンセミナー(6題)が行われました。今回は、午後にシンポジウムを1題ずつ開催したところ、いずれの会場も参加者が多く、討論も活発であり、四国で初めての大会開催であったため、シンポジウムの1つに「四国の生産現場の問題解決」を企画したこともあり、地域の現場で活躍されている方々が多く出席されていました。3日間全てにおいて、設置



写真1 平成29年度学会賞受賞者（後列右端は米山会長）



写真2 特別講演

された託児所が利用され、また、改修工事前の国の重要文化財である道後温泉本館、および、松山城を楽しまれた参加者も多かったようで、嬉しく思っております。

皆様のご協力により、第42回大会（松山）を無事に終えることができました。参加者各位、特別講演、シンポジウム

の演者の方々、ご支援をいただきました企業各社に厚く御礼申し上げます。今後の皆様のご活躍を祈念しております。

日本農業学会第42回大会実行委員会委員長
山内 聡（愛媛大学）

日本農業学会第42回大会 収支報告書

単位：円

科 目	決 算 額	備 考
【収入の部】		
参加費収入	4,837,000	大会参加費，懇親会参加費
広告収入	760,000	広告，企業展示
ランチョンセミナー収入	1,400,000	
助成金収入	1,250,000	(公財) 松山観光コンベンション協会 90万円 (一社) 愛媛県観光物産協会 35万円
雑収入	17,046	弁当代，利子
収入合計	8,264,046	
【支出の部】		
表彰費	616,650	賞金，賞状等製作費ほか
印刷費	616,680	講演要旨等印刷費
会議費	5,348,966	会場費，託児所設置費，懇親会費，弁当代
通信運搬費	18,666	郵送料，振込手数料
旅費交通費	505,087	
謝金	103,218	講演謝金
システム管理費	531,900	事前申込システム
賃金	484,000	アルバイト賃金
消耗品費	76,231	事務用品代
雑費	324	両替手数料
支出合計	8,301,722	
収支差額	-37,676	

有料参加者数	大会		招待（無料）参加者数	大会		参加者総計	大会	
	懇親会			懇親会			懇親会	
正会員	267	193	正会員	29	35	正会員	296	228
非正会員	127	54	非正会員	0	1	非正会員	127	55
学生会員	32	17	学生会員	0	0	学生会員	32	17
合計（小計）	426	264		29	36		455	300
展示業者	11	9	展示業者	0	0	展示業者	11	9
展示業者（大会参加せず・懇親会のみ）	3	0	展示業者（大会参加せず・懇親会のみ）	0	0	展示業者（大会参加せず・懇親会のみ）	3	0
不明	0	0	不明	1	0	不明	1	0
合計（総計）	440	273	合計	30	36	合計	470	309

会 員 動 静

(平成29年2月1日～平成29年4月30日)

入 会

正会員

新子 大樹 小林 正樹 萩原 寛之 戸田 真
五十嵐 一 泉津 弘佑 小柳 雅裕 高橋 正和
柳澤 大介 ラムシャワー シン ラッター

ヴィニート シン

笠原 達矢 井尻 悠士 渡邊 大 堀江 正一
梅 哲夫

学生会員

上津原真美

海外会員

SHENGHAO, Hu WESSELS, Frank

団体会員

カゴメ株式会社

(受付順)

退 会

正会員

天野 順行 坂田 信以 小川 一輝 田中 綾乃
古屋 真彩 酒井 正明 上田 祐子 永崎 果鈴
細羽 美奈子 福土 和伸 井野 由莉恵 塚田 勇輝
石原 一樹 山口 諄 三宅 徳顕 枝松 広明
小林 陽子 柳澤 大介 ラムシャワー シン ラッター

ヴィニート シン

学生会員

GUO, Ming 岩井 崇晃 森 裕子

団体会員

株式会社クレハ分析センター

独立行政法人農林水産消費安全技術センター

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催，共催，協賛，後援する会議等

2017年

8月

23日(水)～27日(日) 第33回国際化学生態学／第9回アジア太平洋化学生態学合同会議

主 催：国際化学生態学会評議員会，アジア太平洋化学生態学会評議員会

会 場：龍谷大学深草キャンパス和顔館 [〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67]

U R L：http://www.2017isce-apace.jp/

31日(木)～9月1日(金) 第40回農薬残留分析研究会

主 催：日本農薬学会，農薬残留分析研究会

会 場：大妻女子大学(千代田キャンパス) 講堂 [〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地]

U R L：http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanryu40.html

9月

13日(水) 第32回報農会シンポジウム

主 催：公益財団法人報農会

会 場：「北とぴあ」つつじホール [〒114-8503 東京都北区王子1-11-1]

U R L：http://www.honokai.org/

15日(金) 残留農薬分析セミナー 2017 (関東)

主 催：日本農薬学会

会 場：明治薬科大学 清瀬キャンパス [〒204-0004 東京都清瀬市野塩2丁目522-1]

U R L：http://pssj2.jp/overview/semina/bunseki_17.html

24日(日)～28日(木) 第14回残留性有害物質に関する国際会議2017

主 催：ISPTS2017実行委員会

会 場：名古屋大学 IB館 [〒464-8601 名古屋市千種区不老町]

U R L：http://ispts2017.jp/

10月

5日(木)～6日(金) 第35回農薬環境科学・第37回農薬製剤・施用法合同シンポジウム

主 催：日本農薬学会，農薬環境科学研究会，農薬製剤・施用法研究会

協 賛：農業食料工学会，日本雑草学会，粉体工学会，日本化学会，高分子学会，色材協会

会 場：静岡コンベンションアーツセンター グランシップ(東静岡) [〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4]

U R L：http://pssj2.jp/committee/environment/environment35.html

11月

1日(水) 残留農薬分析セミナー 2017 (関西)

主 催：日本農薬学会

会 場：奈良県農業研究開発センター [〒633-0046 奈良県桜井市池之内130-1]

16日(木)～17日(金) 第17回 糸状菌分子生物学コンファレンス

主催：糸状菌分子生物学研究会

会場：佐賀県佐賀市東与賀文化ホール [〒840-2221 佐賀市東与賀町大字下古賀1228-3]

URL：http://www.biosci.osakafu-u.ac.jp/fmbsj/17thconf_j/

17日(金) 第32回農薬デザイン研究会

主催：日本農薬学会・農薬デザイン研究会

会場：大手町サンスカイルーム [〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目6番1号 朝日生命大手町ビル 27階]

URL：http://pssj2.jp/committee/design/design32.html

22日(水) 第24回農薬レギュラトリーサイエンス研究会

主催：日本農薬学会，農薬レギュラトリーサイエンス研究会

共催：法政大学植物医科学センター

会場：法政大学スカイホール（市ヶ谷キャンパスポアンナードタワー 26F）

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

29日(水)～30日(木) 第45回構造活性相関シンポジウム

主催：日本薬学会構造活性相関部会

共催・協賛等：日本化学会，日本農芸化学会，日本分析化学会，有機合成化学協会

会場：茨城県県南生涯学習センター

URL：http://bukai.pharm.or.jp/bukai_kozo/jindex.html

学会主催会議などの詳細

残留農薬分析セミナー 2017のご案内

残留農薬分析セミナーを下記のように開催しますので、奮ってご参加ください。詳細については、下記Websiteをご参照ください。Websiteは順次アップデートしてまいります。

URL：http://pssj2.jp/overview/semina/bunseki_17.html

1. 開催時期と内容

【関東】(明治薬科大学後援)

開催場所：明治薬科大学 清瀬キャンパス [〒204-0004 東京都清瀬市野塩2丁目522-1]

開催時期：平成29年9月15日(金) 10時～17時

定員：16名まで(先着順，最終申込締切：8月31日，開催当日での申込・参加はできません。)

内容(予定)

1. 残留農薬分析に係る法律と背景

與語 靖洋(農研機構農業環境変動研究センター)

2. 残留農薬分析の概要と留意点

永山 敏廣(明治薬科大学)

3. 残留農薬分析実験の内容と進め方

4. 残留農薬分析実験(実習)

5. 総合討論

橋本 良子(東京都農林水産振興財団)，

北原 由美(日本食品分析センター)

【関西】

開催場所：奈良県農業研究開発センター

(当日，最寄り駅に集合し，タクシーに乗り合わせて会場へ移送予定。詳細は申し込み受付後に連絡いたします。)

開催時期：平成29年11月1日(水) 9時30分～17時

定員：12名(先着順，最終申込締切：10月17日，開催当日での申込・参加はできません。)

内容(予定)

1. 残留農薬分析に係る法律と背景

2. 残留農薬分析の概要と留意点

3. 前処理ミニカラムおよびQuEChERS法の最適化の考え方と上手な使い方

4. 残留農薬分析実験の内容と進め方

5. 残留農薬分析実験(実習)

6. 総合討論

7. 奈良県農業研究開発センター見学

2. 参加費

関西，関東ともに：学会員 10,000円，非会員 23,000円，学生 5,000円(昼食代を含む)

セミナーでは，テキストとして，「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂3版2012」(日本農薬学会から出版，参加費に含まれる)を参考にしながら進めます。なお，同テキストをご自身で既に購入済みで当日持参される方はテキスト代を減額します。ご参加の際には，関東，関西とも実技ができる服装のご準備をお願いいたします。

3. 申し込み先及び問い合わせ先

申込用紙をダウンロードし，必要事項をご記入のうえ，E-mail(申込書添付)あるいはFAXにて日本農薬学会宛にお申込みください。

日本農薬学会 E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp

FAX: 03-5980-0282

不明点等につきましても上記にお問合せください。

第35回農薬環境科学・

第37回農薬製剤・施用法合同シンポジウム

主催：日本農薬学会 農薬製剤・施用法研究会，農薬環境科学研究会

協 賛：農業食料工学会，日本雑草学会，粉体工学会，日本化学会，高分子学会，色材協会，日本油化学会

日 時：平成29年10月5日(木)，6日(金)

場 所：静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4

TEL: 054-203-5710 FAX: 054-203-5716

URL : <http://www.granship.or.jp>

交 通：JR東静岡駅より徒歩3分

U R L : <http://pssj2.jp/committee/formulation.html>

1. プログラム (予定)

10月5日 13:00~17:30 特別講演，技術研究発表，ポスターセッション

(特別講演1)

「Nanoencapsulation, Nano-guard for Pesticides: A new Window for Safe Application」

Md Nuruzzaman (The University of Newcastle)

(特別講演2)

「種の感受性分布 (SSD) を用いた農薬の生態リスク評価」

永井孝志 (農研機構)

<17:30~19:30 懇親会>

10月6日 9:00~16:30 特別講演，技術研究発表

(特別講演3)

「界面活性剤の性能と最近の研究動向」

小野大助 (地方独立行政法人 大阪産業技術研究所)

(特別講演4)

「日米欧における環境リスク評価」

雑賀 修 (株式会社 サイカポータ)

2. 参加申込み

1) 参加申込み方法

参加申込書を研究会ホームページ (<http://pssj2.jp/committee/environment/environment35.html>) からダウンロードし，所属，氏名 (フリガナ)，連絡先等の必要事項を明記の上，Excelファイル形式のままE-mailの添付ファイルで，もしくはファックスまたは郵送で下記にお申し込み下さい。

なお，発送事務等の省力化のため，会社・事業所・研究機関等の単位で代表者が取りまとめの上，一括してお申し込み下さるようお願い致します。

大会運営の都合上定員 (380名) になり次第，締め切らせていただきますのでお早目の申込みをお願い致します。申込み期限を過ぎますと，早期割引料金が適用されませんので，ご注意ください。

・参加申込書：別紙1を参照ください

(<http://pssj2.jp/committee/environment/environment35.html>)

・申込み先：

竹本油脂 (株) 第四事業部研究開発部

第37回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

近藤 勝義 (コンドウ カツヨシ) 宛

〒443-8611 愛知県蒲郡市港町2番5号

TEL: 0533-68-2113 FAX: 0533-68-1461

E-mail: seizai37@tkc.takemoto.co.jp

2) 参加費

(1) 7月1日~当日の参加申込みの通常料金

19,000円 (内 研究会費13,000円，懇親会費6,000円)

(2) 学生を対象とした特別割引

(申込み時期，上記学会の会員登録の有無を問いません)

8,000円 (内 研究会費2,000円，懇親会費6,000円)

参加費には，2日目の昼食 (弁当) も含みます。なお，1日目のみの参加，および懇親会の参加有無にかかわらず，参加料金は一律 (研究会費+懇親会費) です (振込手数料につきましては別途負担となります)。

3) 参加費振込

参加申込み後は，下記振り込み口座に参加費をお早めに振り込み頂きますようお願い致します。また，一度振り込まれました分は返金できませんのであらかじめご了承下さい。ご入金確認後に，折返し参加確認および・参加費振込確認書を送付致します。別紙1にてお受け取り方法をご指定ください (E-mail, ファックスまたは郵送)。なお，参加申込み・入金確認書をもって領収書とさせていただきます。

振り込み先：三菱東京UFJ銀行 駒込支店 (店番号061)

普通口座番号 0020365

農薬製剤施用法研究会 (ノウヤクセイザイ セヨウホウ ケンキュウカイ)

3. 技術研究発表・ポスターセッション申込み

終了しました。

4. 宿泊先

事務局での宿泊手配は行っておりません。ご出席の皆様各自にてホテル等ご予約をお願い致します。

5. 事務局

[シンポジウム全般に関する問い合わせ]

(農薬製剤施用法研究会)

日本曹達 (株) 小田原研究所 製剤研究部

第37回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

前川 祐一 (マエカワ ユウイチ)

〒421-0412 静岡県牧之原市坂部62-1

TEL: 0548-29-0611 FAX: 0548-29-0631

E-mail: oda-formulation@nippon-soda.co.jp

(農薬環境科学研究会)

日本農薬 (株) 研究本部 総合研究所 安全性・医薬ユニット

第35回農薬環境科学シンポジウム事務局
吉實 隆志 (ヨシザネ タカシ)
〒586-0094 大阪府河内長野市小山田町345
TEL: 0721-56-9000 FAX: 0721-56-9090
E-mail: seizai-present@nichino.co.jp

[参加申込み・参加費に関するお問合せ]
竹本油脂(株) 第四事業部 研究開発部
第37回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
近藤 勝義 (コンドウ カツヨシ)
〒443-8611 愛知県蒲郡市港町2番5号
TEL: 0533-68-2113 FAX: 0533-68-1461
E-mail: seizai37@tkc.takemoto.co.jp

[技術研究発表・ポスターセッションに関するお問合せ]
クミアイ化学工業(株) 製剤技術研究所
第37回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
池内 利祐 (イケウチ トシヒロ)
〒424-0053 静岡県静岡市清水区渋川100
TEL: 054-345-3163 FAX: 054-346-3284
E-mail: seizai37@kumiai-chem.co.jp

第40回農薬残留分析研究会 開催案内

主催：日本農薬学会 農薬残留分析研究会
日時：平成29年8月31日(木)～9月1日(金)
場所：大妻女子大学(千代田キャンパス) 講堂
〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地
<http://www.otsuma.ac.jp/>

交通：JR、地下鉄「市ヶ谷」駅から徒歩10分
地下鉄「半蔵門」駅から徒歩5分、「九段下」駅から徒歩12分
URL：<http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanryu40.html>
プログラム：

<8月31日(木)：1日目>
13:00～13:30 開会挨拶：農薬残留分析研究会40年の歩み
農薬残留分析研究会委員長 藪崎 隆
シンポジウム「農薬残留分析の40年、改めて分析値の持つ意味を考える」
農薬残留分析研究会の発足は、日本農薬学会(昭和50年設立)と同時に発足した農薬残留分析談話会にまで遡り、本年度で第40回の節目を迎えることとなりました。今回の記念大会では、関係各方面の最前線で活躍してこられた経験豊かな先生方にご講演を頂き、農薬残留分析の40年を振り返り、改めて分析値の持つ意味を改めて考える機会としたいと思います。

13:30～14:10 基調講演(45分)
「農薬の開発研究現場の視点から、農薬残留分析について考える(仮題)」

日本農薬株式会社 執行役員 元場 一彦
14:10～14:50 シンポジウム講演-1(40分)
「農薬使用現場の視点から、農薬残留分析の意義を考える(仮題)」
日本植物防疫協会 技術顧問 中村 幸二
14:50～16:20 ポスターセッション、企業展示
16:20～17:05 講演-3(40分)
「分析現場の視点から、農薬残留分析技術の進展について考える(仮題)」
明治薬科大学薬学部 教授 永山 敏廣
17:05～17:50 特別講演(45分)
「食品衛生・教育現場の視点から、残留農薬を通しての食の安全を考える」
大妻女子大学家政学部 教授 堀江 正一
18:00～20:00 情報交換会

<9月1日(金)：2日目>

- ・一般口頭発表 4～6題
- ・40周年記念企画 農薬残留分析研究会の現在・過去・未来(アンケート集計報告)
- ・企業セミナー

参加費等(当日料金)：

研究会参加費：会員7,000円、非会員10,000円、学生2,000円
情報交換会：10,000円(学生3,000円)

参加申込み：

事前参加申込みは終了しました(当日受付あり)。

発表申込み：

終了しました。

企業展示申込み：

終了しました。

[問い合わせ先]

一般財団法人残留農薬研究所 飯島 和昭

TEL: 0297-27-4516 (ダイヤルイン) FAX: 0297-27-4517

E-mail: ijijima@iet.or.jp

第32回農薬デザイン研究会 開催案内

主催：日本農薬学会・農薬デザイン研究会
日時：平成29年11月17日(金)
場所：大手町サンスカイルーム [〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目6番1号 朝日生命大手町ビル27階]

<http://www.sunskyroom.jp/otemachi.htm>

交通：JR東京駅(日本橋口)より徒歩1分

URL：<http://pssj2.jp/committee/design.html>

テーマ：未来型創農薬～既成概念からの脱却～

プログラム：

- 9:30- 受付, ポスター展示準備
- 10:30-10:40 開会の挨拶 滝川 浩郷 (神戸大学大学院農学研究科)
- 10:40-11:30 講演1 「創農薬イノベーションを創発するケミカルバイオロジー方略」
掛谷 秀昭 (京都大学大学院薬学研究科)
- 11:30-12:40 昼食
- 11:40-12:20 ランチョンセミナー 提供: ナミキ商事株式会社 (定員80名)
- 12:40-13:30 講演2 「タイトル未定」
浅見 忠男 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
- 13:30-14:20 講演3 「新しい分子の振舞いを理解する: 触媒機能から生物活性まで」
大井 貴史 (名古屋大学大学院工学研究科)
- 14:20-14:40 休憩, ポスター発表準備
- 14:40-15:00 講演4 「新規殺菌剤トルプロカルブの創製」
海老原 耕一 (三井化学アグロ株式会社研究開発本部)
- 15:00-16:10 ポスターショートプレゼンテーション, 出展プレゼンテーション
- 16:10-17:20 ポスターセッション
- 17:30-19:20 懇親会
- 19:20-19:30 閉会の挨拶

ポスター発表：

ポスター発表申込み締め切り：平成29年9月15日(金)

参加登録費：(要旨集代, 懇親会費を含む.)

一般	15,000円 (非会員20,000円)
公的研究機関	10,000円 (非会員15,000円)
学生会員	3,000円 (非会員5,000円)

参加申込み開始：平成29年6月1日(木)より

参加申込み締め切り：平成29年10月6日(金)

定員：130名

申込み方法：

官製はがき, FaxまたはE-mailで氏名, 所属, 連絡先(住

所・電話番号・Fax・E-mail), 農薬学会会員・非会員の別, 懇親会の出欠, 入金予定日を明記し, 下記宛先にお申込みください。

申込み先：

第32回農薬デザイン研究会事務局

三井化学アグロ株式会社農業化学研究所 担当: 番場 伸一
〒297-0017 千葉県茂原市東郷1144

Tel: 0475-23-8480 (代表) Fax: 0475-23-8513

メールでの申し込みは, pesticide-design-32@mitsuichemicals.com をお願いします。

参加費の振り込み口座：

りそな銀行・茂原支店 (店番: 540)

口座番号: 1453628

預金科目: 普通

口座名義: 農薬デザイン研究会事務局 (ノウヤクデザインケンキュウカイジムキョク)

日本農薬学会第43回大会における広告, 展示 およびランチョンセミナー募集のご案内

日本農薬学会第43回大会が下記の日程・会場で開催されます。つきましては, 講演要旨集への広告の掲載, 展示会への出展, およびランチョンセミナーの開催等でご支援を賜りたいと考えております。各応募の詳細および申込先等につきましては学会ホームページ (<http://pssj2.jp/congresses/43/taikai43.html>) に掲載しています。本大会の成功のために, 何卒ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

日 程: 平成30年5月25日(金)~5月27日(日)

会 場: 秋田県立大学 秋田キャンパス, 秋田ビューホテル
申し込み・問い合わせ先：

TEL: 018-872-1637

E-mail: tamo_chem@akita-pu.ac.jp

日本農薬学会第43回大会組織委員会委員長
秋田県立大学 生物資源科学部 田母神 繁

発行所: 日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

TEL: 03(5980)0281 FAX: 03(5980)0282

E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp